

山本芳照 議員



震災時、一時避難できる 民間マンションはあるか

問

防災について聞く。

(1) 一時避難場所として提供される民間マンションの数は。

(2) ハザードマップの配布時期に合わせ、各小学校区で意見交換会の場を設けてはどうか。

5施設が承諾を得られる見込み

答 防災安全課長

(1) 現段階で協定を結んだ所はない。

8月に3階以上の鉄筋コンクリート造等の所有者に説明会を行い、17施設に来てもらった。

現段階で5施設が使用させてもらえると考えている。(2) ハザードマップの説明

については、話ができれば出前講座で対応する。

公共バスは普通車等で運行を

問

コミュニティバス「II関

連記事8面]について聞く。
(1) 1日の平均利用者数は何人か。
(2) 中型バスをマイクロバス、普通車に変更してもよいのではないか。

デマンド方式を 研究していく

答 防災安全課長

(1) 4〜7月の一便当たり平均で、南部ルート8人、北部ルート3.1人、東部ルート2.4人で、1日平均170〜180人が利用している。
(2) (リース期間が5年間であるため) 契約等も考え、現在の形態の方が経費も合理的だと思う。

デマンド方式

【手】は飛鳥村等も使っており、研究していきたい。

規定路線外を主に走る乗り合いタクシー方式。事前に電話等で予約し、予約者の自宅

白鳥保育所整備をどう考えるか

問

白鳥保育所整備について、どんな考えを持っているか。

や目的を順次回りつつ、それぞれの目的地で乗降する。飛鳥乗合タクシーは、①海南病院と村営バス停に乗降を限定②一日5便の時刻表通りに運行③片道500円の方式で、近鉄タクシーが代行している。

27年開所を目指し、準備したい

答 市長

23年度に基本構想、24年度に隣地取得、造成工事、実施設計、25年に工事着手、遅くとも27年春に開所できるように準備を進めていきたい。

弥生保育所と同様に、児童館、児童クラブとの複合的な保育所にしていきたい。避難所としての利用も考えていきたい。

▶白鳥保育所

